

令和5年度まちづくり懇談会ふれあいトーク 事前質問要望等経過対応報告一覧（西方地域）

No.	自治会	質問要望等	当日の回答要旨	経過・対応報告
1	柴西	<p>【西方小学校正門道路修復について】</p> <p>下水道工事などにより道路舗装に亀裂が走り、雨の時水たまりができ陥没などがあり、事故の原因になりかねないので、完全な修復をお願いします。 なお、付随道路も舗装してから50年近くたつので、同様にお願いします。</p>	<p>【道路河川維持課:TEL 21-2771】</p> <p>ご要望の道路につきましては、令和4年8月に自治会から舗装補修の要望をいただいております、ご要望に沿った補修を今年度に予定しておりますが、早期の実施に努めてまいります。</p>	<p>【担当課:道路河川維持課:TEL 21-2771】</p> <p>ご要望の道路につきましては、令和5年9月に舗装補修工事が完了いたしました。</p>
2	参加者 (反町)	<p>【赤津川河川内の堆積土砂撤去、真名子カントリー敷地内の管理】</p> <p>去年もお話したのですが、赤津川河川内のヨシの育成が著しく、イノシシやシカの活動、繁殖が予想されます。また、線状降水帯等の発生時に水量が増加する不安があります。現状、かなり堆積土砂が溜まっていて、一部県土木のほうで、200mくらいヨシの撤去作業をしていただいたが、来春も根が残っている状態だと、すぐに成長してしまう。堆積土砂を撤去していただかないと、河川自体の容積は変わらないと思います。 管轄が市ではないと思いますが、市で無理であれば県、県で無理であれば、国へお願いするということをお願いしたい。</p> <p>2点目は真名子カントリーの現況ですが、今は営業されておらず、これから再開も希望はもてないと思いますが、かなり管理されておりませんので、道路脇の松の木等が冬場や、突風が吹いた際に危険ではないか。それから、地元の方は分かると思いますが、真名子カントリーの赤い鉄橋がかなり高い位置を通っているのですが、あれが劣化したときに、あれだけの高さから、例えばボルトが落ちるなど、かなりの危険性があると思いますので、その辺の管理はどのように把握されているのか、お聞きしたいと思います。</p>	<p>【都市建設部長】</p> <p>まず、赤津川につきましては、お話にありました通り、一級河川となりますので、管轄は県になっております。現に、赤津川の下流のほうから掘削を徐々に進めていると伺っておりまして、上流域に進んで行くものと思っております。いずれにしても、地域の皆様からご要望があったということを県に伝えまして、早期着手していただきますよう、市としても要望してまいりたいと思っております。</p> <p>次に、真名子カントリーの件でございますが、道路に倒れてしまっている倒木に関しましては、市の市道の管理ということで、市において撤去等の対応をしていきたいと考えておりますが、橋については真名子カントリーが管理しておりますので、そこはゴルフ場のほうに適切に管理をお願いしたいと伝えてまいります。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 【担当課:道路河川維持課:TEL 21-2771】</p>
3	参加者 (真上)	<p>【真上地内の道路補修について】</p> <p>大柿から真上路線に入る、真上のほうの道路を、2,3年前に2回ほど大がかりに修理してもらったのですが、どうしてもダンプが通りますので、梅雨時、夏場に陥没と盛り上がりが出てきています。通行にあたってお互いに避けるものから、危険が伴うのが現実になっている。 何年か定期的にやられているようなのですが、雨が降ると道路から湧き出す部分については、多少強固にやってもらわないとまた膨れ上がってしまう。どうしても重量物が通りますので、その辺検討してもらって、お願いできればと思います。</p>	<p>【都市建設部長】</p> <p>道路の維持管理について大変ご迷惑をおかけしているところでございます。まず、道路の陥没等危険な個所につきましては、現地を確認して早急に対応していきたいと考えております。 また、全体的な補修につきましては、現在、市全体で計画的に取り組んでおりまして、順次直してまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 【担当課:道路河川維持課:TEL 21-2771】</p>

No.	自治会	質問要望等	当日の回答要旨	経過・対応報告
4	参加者 (小沼)	<p>【総合計画の将来のあり方に『市霊園内の樹木葬・合同葬』を入れてほしい】</p> <p>市政報告資料にある総合計画、将来のありたい姿に加えていただけないかなということ質問させていただきます。</p> <p>長男は結婚していますが子供がいない。十年前にお墓を造る土地を確保しましたが、子供が出来なくては造れない。そういう状況を色々話していましたが、うちも墓じまいしなくちゃいけないという話が色々出てきました。</p> <p>そこで、各地区に市の霊園があると思いますが、その中に樹木葬とか合同葬とか、そういったあまり費用はかからないようなものを作ることを、この総合計画に入れてもらえないか。</p> <p>現在、民間の方ではよくチラシに載ってくるのでわかるのですが、お墓というのは長いスパンで考えなくてはいけないものですから、民間だとどうも疑問を呈してしまいます。</p> <p>また、お寺さんの方にも樹木葬はありますが、そちらのほうは宗派など気にしたくないので、できれば市のほうで今の霊園の中の一角を使って、木を一本植えるなど、費用があまりかからないものを、この総合計画に入れることができないか、ご提案と質問をさせていただきます。</p>	<p>【生活環境部長】</p> <p>お墓を継がれる方がいないという方は、結構増えているかと思えます。皆川城内町にある聖地公園はご存じでしょうか。現在、この4月から、合葬墓という形で造らせて頂いておりまして、建物が在って、地下にお骨をお預かりするという形で、市内の方であれば、10万円という形でお預かりしています。お話にもありました、墓じまいをされたという方などが4月以降受付をされておりますので、そちらの方をご利用いただければと思います。</p> <p>なお、皆川城内町の施設がいっぱいになるとか、ご要望が市内全域で広がってくれば、また別な所ということも考えられるかもしれませんが、今のところは皆川聖地公園内の合葬墓地のほうをご利用頂ければ有難いなと考えております。</p> <p>【総合政策部長】</p> <p>本日お配りしています総合計画は概要版で、本編はもう少し厚いものがございます。ご質問にありました「将来のありたい姿」というのは、大きい目標、テーマとなります。計画の基本方針のひとつに「誰もが安心して暮らせる栃木市」があり、「生活環境の充実」という項目があります。この中で「その時代にあわせた墓園斎場の再整備や適正な維持管理を図っていきます」と記載しております。</p> <p>ご提案にありました合同葬も含め、今後も時世に合わせて施策を実施するというのは基本でございますので、ご質問いただいたような考えが、総合計画の中から抜け落ちていないということは、ご承知おき頂ければと思います。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 【担当課：環境課：TEL 21-2422】 【担当課：総合政策課：TEL 21-2302】</p>
5	参加者 (下宿南)	<p>【県の半導体関連産業の誘致について】</p> <p>先程、真名子カントリーの話が出ましたので、関連してお願いしたいと思えます。</p> <p>栃木北部地域振興研究会で、ゴルフ場の廃業があるようなのでそれらの再開発についても検討していただきたいというご提言を以前にしてあるかと思えます。</p> <p>ゴルフ場が閉業したということで所有者も多少変わっているようですので、これを再開発できないかということで、企業でも取り組んでいただいているとは思っています。</p> <p>実は栃木県が半導体関連産業を誘致したいと。これをぜひ栃木にということで我々も考えています。真名子カントリーの北側については、宇都宮西中核工業団地の隣で、進入路も整備されておりますし、開発するには造成だけですむと有利な条件にありますので、県などとも協議をしながら、なんとかできないか市の方でも調査をしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>ご意見をいただけるならいただきたいのですが、要望として申し上げます。宜しくお願いいたします。</p>	<p>【副市長】</p> <p>以前、真名子カントリークラブの所有者の方と、総合政策課長の時に協議をした経緯がございます。その時のこととお話しますと、ゴルフ場として再開するのは事実上難しいというお話をいただいております。</p> <p>そのときに、市として活用できないかとお話をいただきました。中々直接市では難しいと申し上げましたが、検討していく中で、確かに宇都宮西中核団地と隣接しておりますので、県の企業局などに行きまして、実際どうなのかとお話をいたしました。造成の費用がかなりかかるということでありました。</p> <p>栃木北部地域振興研究会からご提言等をいただいているということも承知しておりますので、改めて、何かその場所を利活用できないか、市の中でもう一度検討してみたいと思っております。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 【担当課：総合政策課：TEL 21-2302】</p>

No.	自治会	質問要望等	当日の回答要旨	経過・対応報告
6	参加者 (柴中)	<p>【西方民俗資料室について、風通しの実施や建て替えの検討を】</p> <p>合併して10年ということで、先ほど市長からお話がありました。西方町では、合併以前から民俗資料をずいぶん集めていて、一万点近くあります。それがどこにあるか皆さんご存知ですか。公民館の西側にある小さなプレハブ、その中に入っております。町の時は風通しをしていたのですが、最近は何もしていない。今の担当はどこか分かりませんが、せっかく集めた資料ですから、何とか対処していただきたい。</p> <p>当時は展示室あるいは収蔵室を作ってはどうかという話がありましたが、残念ながら立ち消えになりました。西方の歴史のある民俗資料がいっぱいありますので、もう少し目を向けていただきたい。</p> <p>将来はどこかに立派な建物を建てていただいて、収蔵するということがほしいと思います。大森陽一先生という方が非常に熱心にやっていたのですが、それを我々が今後引き継いでいけなくてはいけません。ご検討いただければと思います。</p>	<p>【教育次長】</p> <p>西方民俗資料室につきましては、公民館の南側に二棟ほどプレハブが建てられておりまして、その中に西方町において発掘されたり収集されたりした貴重な民族資料が収蔵されております。</p> <p>私も中に入りまして、拝見させていただきました。民俗資料がおどろくほどきれいに整理をされており、また展示そのものも非常にコンパクトで分かりやすい展示をしているということで、私自身非常に勉強になったという記憶がございます。</p> <p>ご承知のとおり、合併によりまして、市内には資料室を含め、民俗関係の資料館等が複数ございます。収蔵状態が必ずしも皆いい状態には残念ながらございませんが、現在、市のほうで、こういった文化資料を集約して保存ができるような施設の利用も始まったところでございますので、十分な保存管理ができるように、引き続き対応してまいりたいと考えております。</p> <p>すぐにできるものとすぐにできないものがあるかと思いますが、いずれの地域にもそういった貴重な民俗資料がございますので、それを後世にしっかり引き継いでいけるように取り組んでまいりたいと思っておりますので、ご理解賜りますよう、よろしく願い申し上げます。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 【担当課：文化課：TEL 21-2497】</p>
7	参加者 (上組東)	<p>【人口を増やすための政策について】</p> <p>去年も話をさせてもらいましたが、人口減対策。給食費の無料というのを市長は最初掲げてやってきたが、駄目だったという話を、昨年させてもらいました。一年経って、子育て支援とか婚活とかいったものに対しての、人口を増やすための政策というか、考えはできたのでしょうか。</p> <p>実際、今西方には0～1歳はきっと30人位しかいないと思います。資料を見せてもらいましたが、人口分布のボリュームゾーンが75歳ぐらいの人口が多くて、申し訳ないんですが、その世代の方はあと20年ぐらいするといなくなるというのが現実であると思います。そうなった時に、それからどんどん人口が減っていくというのは目に見えています。それについて栃木市としてはどう考えていますか。</p>	<p>【市長】</p> <p>しっかりと安心して子供を産める栃木市をつくるということ、議員時代から、引き続き取り組んでまいりましたが、なかなか人口増に繋がっていかないのが現実です。</p> <p>そこで、切れ目のない子育て支援を栃木市はやっていくということで、今様々な新たな事業を進めておりまして、来年には子供家庭センターとして、一年を通して子供中心の真ん中社会をつくる、子育て世代に切れ目のない支援をしていこうということで進めております。</p> <p>給食費の問題も小・中3まで出来ましたけれども、財政的にも厳しい状況になっておりまして、国の方にも、給食費の無料化、そして幼稚園、保育園の給食費無料化ができないかということをお願いさせていただいたところです。</p> <p>【こども未来部長】</p> <p>まず、直近での子育て支援策としましては、こども医療費の助成という部分で、今年の1月から診療部分そちらについて高校生まで無償にするという動きをとっております。</p> <p>その他、先ほど市長からご案内のありましたように、小学校6年生と中学校3年生の給食費無償化をいたしました。国の方でも、こども未来戦略方針を定め、その中で無償化を推進していくという触れ込みがございました。</p> <p>ただそこには、先程市長の申しあげました幼稚園保育園の給食費の無償化は入っておりませんでしたので、その制度化に向けて、私も昨日こども家庭庁に伺いまして、要望してまいりました。</p> <p>また、今年の4月から、おむつとおしり拭きについて、出生届時と、4か月位たったところで、おむつについて2袋、おしり拭きも1箱提供するというを実施しております。2回目の4か月の時にお渡しする場所は、子育て支援センターというところをご案内しておりまして、子育て支援センターには保育の専門家、保育士がおります。そこで相談を受けることができ、且つご質問いただけるというような環境にする。そういった子育て支援施策というものを現在実施している状況でございますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 【担当課：保健給食課：TEL 21-2480】 【担当課：子育て総務課：TEL 21-2221】</p>

No.	自治会	質問要望等	当日の回答要旨	経過・対応報告
8	参加者 (上組東)	<p>【栃木市に移住したいと思わせる魅力のある政策を】</p> <p>栃木市の何かしらの良さというか、いいところがないと人口は増えない、移住する人は増えないと思います。 少し前、ユーチューブで見かけたのですが、政治家、女性党議員の浜田議員が、今、市民は税金をものすごく取られていると。そこで市民税を下げる所が全国で2市町だけあるという話をしている、ちょっと何市かは忘れましたが。 少しでも何かしら魅力のある、移住したいと思わせる魅力のある政策というのが、何かあるのではないかと。</p>	<p>【地域振興部長】</p> <p>市外から本市へ移住した場合、市街化区域に住宅を取得した場合、新築住宅については30万円、中古住宅については10万円の補助を行っています。 また、居住誘導区域加算や子供加算、それから東京圏移住加算や、Uターン、孫ターン、三世同居加算など、色々なケースによって加算をしており、そういった補助等をホームページなどに掲載して移住促進を図っているところです。</p> <p>【市長】</p> <p>外国では女性の方が3人子供を出産すると女性の税金は免除になるという、そんな国もあることを伺っております。そこまで真剣にやらないと、日本全体の子供の数は増えていかないと考えます。なかなか市独自で税金をお子さん3人目から安くするよというのは難しいと思いますが、国の政策としてそれはしっかりやっていくべきだと思っています。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 【担当課：地域政策課：TEL 21-2453】</p>
9	参加者 (田谷)	<p>【下水処理施設の藤つる等の除去について】</p> <p>2年前自治会長をやらせていただいた時に、西方の下水処理の施設から藤つるが敷地を越えて県道上久我線に出ていまして、そこに私の前を走っていた車がその藤つるを除けようとして中央線の方に入ったことがありました。子供たちがそこを自転車とか徒歩で学校へ通学しているので、これはまずいと思って、すぐに地元の針谷議員にお話し、2日位きれいにしていただいた。 下水処理施設は立派な建物ですが、まわりに草が茂って見づらくて、下水道関係の人は何をやっているのかなと、いつも思います。予算の関係もあると思いますが、これからスマートインターも開通して、結構通日も激しくなるのではないかなと思うので、是非西方町の真ん中にある下水処理施設を常に綺麗に、根本から直していただければ。もしくは、そんなに広い場所じゃないので舗装してもらおうか。そうすれば通りかかる栃木市以外のお客さんも、ああ西方町って綺麗だな、と思ってもらえると思うので、よろしく願いいたします。</p>	<p>【上下水道局長】</p> <p>年2回から3回程草刈り等を行っているところですが、藤つるも大きいものになると、どうしても職員では対応できない時もありますので、現場を早急に確認した上で検討させていただければと思います。 あまり人や車両が立ち入る施設ではないので、管理的には長い目で見ると砂利敷きやアスファルトに変えてしまうのが一番いいのかなと、私としても思いますので、それも含めて早急に検討させていただければと思います。</p>	<p>【担当課：下水道建設課：TEL 25-2109】</p> <p>西方西部地区の農業集落排水処理場につきましては、年に2～3回の除草作業を実施しておりますが、つる草の除去に苦慮しております。このような状況から、ご提案をいただいております広場の舗装工事について、令和6年度に実施ができるよう、予算の要求を行ったところですが、今後、予算の確保がされ、工事のスケジュール等が決まりましたら、改めてご連絡させていただきます。 本課が所管する施設については、今後も除草作業を含めた適切な管理に努めてまいりますので、よろしく願いいたします。</p>
10	参加者 (柴中)	<p>【栃木市消防署都賀西方分署の計画について】</p> <p>都賀西方分署が上久我線のどこかに設置される、できるという話を聞いたのですが、これはもう具体的に始まっているのでしょうか。</p>	<p>【総合政策部長】</p> <p>市のホームページ等で北部の消防分署についての情報を公表しておりますが、令和5年度につきましては、基本設計と用地取得の関連手続き、それと外構的な造成の部分の設計、令和6年には造成作業に入っていくという計画になっておりまして、令和6年に、出来れば用地を取得していきたいという計画になっております。</p> <p>順調に進めば、令和7年、8年にかけて、庁舎の新築工事と物置・倉庫の新築、外構工事をいたしまして、開庁は令和8年の2月頃を予定しております。 最後に、令和9年に今の西方分署の解体という予定となっておりますので、詳細な資料がホームページに公表されておりますので、そちらもご確認いただければと思います。</p>	<p>【担当課：消防総務課：TEL 23-3527】</p> <p>令和6年4月から、建設業において時間外労働規制が義務化されることを踏まえ、工期の延長等に柔軟に対応できるよう検討し、造成工事を令和7年度に、建築工事を令和8年度から9年度に実施し、令和10年3月頃の開庁を目指すことといたしました。 なお、現在の都賀分署及び西方分署の解体工事につきましては、令和10年度を予定しております。</p>

No.	自治会	質問要望等	当日の回答要旨	経過・対応報告
11	参加者 (小沼)	<p>【防災ラジオについて、バッテリー内蔵のものに替えて欲しい】</p> <p>前に民生委員の会議でも指摘したのですが、現在の防災ラジオは電源 100Vと単三電池だけで、何か災害があったときには 100V 電源は使えないため、防災には役立たないのではないか。そういうことを言ったのですが「変えられない」とのことなのですが、この「ふれあいトーク」を機に一度検討していただければ。</p> <p>充電式で電源 100Vと電池とバッテリーと、この 3 つの機能があるものならどこでも使える。そういうものを民生委員の方に渡さないと、いざというときに使い物にならないのではないかと、ちなみに、単三電池だけを新しいものを入れて、何か月くらいもつのか試したところ、3 か月くらいしかもたないような気がしました。いまの防災ラジオで本当に良いのかどうか、検討していただければと思います。</p>	<p>【危機管理監】</p> <p>防災ラジオであります。自動起動といまして、緊急時に避難情報等が発令されたときなど、電源を切った状態であっても自動で音声が出るシステムになっておりまして、いわゆるAC電源、コンセントに電源を常時さした状態でお使いいただくのが一番安全な形になります。ラジオとしては、電池を入れて持ち歩くことも可能ですが、自動起動のためにコンセントにさしてお使いいただくよう、ご理解いただければと思います。</p> <p>ご提案の件につきましては、お時間を頂戴いたしまして、検討させていただきます。</p>	<p>【担当課：危機管理課：TEL 21-2551】</p> <p>栃木市防災ラジオは、電源を切っていても緊急放送を瞬時に受信できるよう、常に「待受け状態」となっており、通常のラジオとは機能が異なります。</p> <p>防災ラジオの取り扱いメーカーに確認をいたしました。バッテリーの内蔵や手回し式などの機能を備えたうえで、緊急時に自動起動放送が入る製品の取り扱いはないとのことですので、ご理解いただければと思います。</p>
12	参加者 (向宿)	<p>【山林等から道路に延びる枝の伐採について】</p> <p>道路の山際の枝が伸びていまして、前回大きな災害のときは大丈夫だったのですが、一時枝が折れて道路に倒れてしまい危険なことがあったという話を聞きました。実際には、山林でしたら、その各所有者の責任ということをお願いすることがありますが、どうしても、個人でお願いするのは無理ということで、市の方にもお願いをしているということをお願いすることがあります。</p> <p>所有者が何人にも分かれていて、なかなか処分してもらおうのが難しい場合など、市の方では、これは所有者の立ち木であるからあくまでも個人で処分伐採してもらいたいという話はお聞きました。</p> <p>ただ、所有者が分からなかったり、または分かっても所有者が処理するのがなかなか厳しかったりする場合、市の方で「立ち木が危険ですから伐採をしてください」と案内をしても対応しない場合は、ある程度期間を決めてお願いしているのでしょうか。もし何年もされていない場合、市の方で強制で行うような方法をとられるのでしょうか。その流れをお聞きしたいと思います。</p>	<p>【都市建設部長】</p> <p>敷地から出ている部分については、基本的には今ご発言にあったとおり、所有者にやっていただくのが基本となりまして、市の方でも見つけたら、基本的には所有者をお願いすることになりますが、例えば危険な場合や所有者が見つからない場合には、市で伐採するといった対応しておりますので、今後そういうものが見つかりましたら、担当課にご連絡いただければと思います。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p> <p>【担当課：道路河川維持課：TEL 21-2771】</p>
13	参加者 (真上)	<p>【人口減少対策について、先進地へ研修に行つてはどうか】</p> <p>2～3 日前のNHKで、東武沿線のアーバンパークライン、柏、流山おおたかの森での事案を紹介していた。駅から 30 分くらいのエリアにおいて、人口が 70 代以上よりも 20～30 代がどんどん増えている。子どもも増えているということをお聞きました。</p> <p>実際に市職員が何人か研修に行つてはどうか。栃木市の考え方を示していただきたいと思つています。各地域、どこの地域もそのように勉強しているのではないかとおもうのですが、栃木市は東武沿線。国鉄は少し離れておりますが、流山おおたかの森もだいたい似たような場所だと思つています。そういったところを勉強のひとつとして、市職員も一生懸命になって頑張ってもらいたいという意見です。</p>	<p>【市長】</p> <p>ご提案をいただきましてありがとうございます。流山、それから守谷市もそうなのですが、急激に人口が増えています。つくばエクスプレスの沿線で、ベッドタウン。つくばエクスプレスができたことで、東京に通う人がそこに住んで通勤するという仕組みができて、急激に若い人たちが増えています。私も流山や守谷市の事例を知っておりますが、急激な人口増となり、大変羨ましいところでもあります。</p> <p>本市に何ができるか、いろいろと研究をして、皆さまと協力しながら、少しでも人口が増えるように努力してまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>

No.	自治会	質問要望等	当日の回答要旨	経過・対応報告
14	参加者 (中宿)	<p>【ふれあいバスにAI自動運転を導入してはどうか】</p> <p>ふれあいバスの利用者が少ないということで、「免許証を返納したのに不便で仕方がない」という方の意見を聞きました。私も乗ってみました。無料の日に、行きは2人、帰りは3人しか乗っていません。「これは本当に不便なものを走らせているんだな」と思いまして、先ほども言われておりました「魅力ある街」にするために、面白い提案として、いま全国でもやっております、AIを利用した自動運転のバスを、区間だけでも、ちょっと待っていてくれるくらいの時間があるような、小回りの利くバスを走らせていただくのはどうか。</p> <p>将来的には西方城の宣伝も兼ねた派手な宣伝バスのような、わくわくするものを走らせてみたら、子どもたちも面白そうだし、お年寄りも心配なく免許証を返納できる。便利な世の中、便利な西方にしていきたいと思っております。</p> <p>私はこちらに帰ってきて2年と少ししか経っていないのですが、本当に西方が大好きなので、なんとか子どもたちの賑やかな声をも一度聞きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします</p>	<p>【生活環境部長】</p> <p>真名子線の利用者は結構いらっしゃると思うのですが、確かに金崎線の方は、鉄道と並行しているということもあり、比較的乗降客が少ない状況でありまして、市でも「どうしたら利用が増えるのか」と色々考えております。</p> <p>たとえば、昨年度はバスに添乗し、お客様から直接ご意見を伺ったり、この西方地域では、3月にワークショップを開催し、地域の方のご意見を伺ったりということをしてしております。</p> <p>利用者数の件は、市全体としても課題となっている部分でございます。ご提案いただいたような、例えばAI自動運転をすぐに栃木市でというわけにはなかなかいかないと思っておりますが、乗車率が増えるような対応を考えていきたいと思っております。</p> <p>また、免許返納のお話がありましたが、高齢になって免許返納された方には、ふれあいバスと蔵タクで使える1万円分の利用券をお渡ししております。</p> <p>いずれにいたしましても、利用が増えるような「魅力ある街づくり」、公共交通を目指して、引き続きご意見を伺いながら、よりよいサービスにしていきたいと思います。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p> <p>【担当課：交通防犯課：TEL 21-2153】</p>